

## 母校を支援し、変化する同窓会!

### ●浦高同窓会・平成29年度総会!

28日午後1時30分から“ラフレさいたま”におきまして250名強の会員が出席して「浦和高校同窓会 平成29年度総会・講演会・懇親会」が開催されました。最初に木村恵司会長(高17)からご挨拶。

「皆様、こんにちは。昨今は国内外でいろいろと騒がしいことが起こっております。北朝鮮の核開発やロケット騒動、あるいはイギリスやインドネシアでのテロ事件と緊張感が高まっています。私も国家公安委員会委員の一人として3年後に控えた東京オリンピックなどを考えますと、しっかりとした体制づくりをしていかなければならないと考えております。さて昨年、会長に就任し各地域職域同窓会等へ伺う機会が増え、各地域職域同窓会が親睦だけではなく、大宮浦高会では世界盆栽大会へ協力したり、春日部地区浦高会ではウィーンから音楽家を招いたコンサートを開催するなど、幅広く文化芸術分野等での地域貢献事業に取り組まれていることを伺い嬉しく思いました。同窓会事業としての百年の森、奨学財団等も順調に進んでおりますが、浦高が次代のリーダーを育てるために年々変化しているように、同窓会も5年、10年後のあり方、意義を考えようと活性化委員会を立ち上げて議論を重ねております。今後とも母校の支援と同窓会の活性化に努めてまいりますので、皆様方のご協力をお願いいたします。」

次に杉山剛士校長からのご挨拶。

「今日は、総会の開催お喜び申し上げます。同窓会の皆様には、日頃さまざまな形でご支援ご協力いただいておりますことをお礼申し上げます。昨年の総会では悔しい思いを申しあげましたが、あれから1年、生徒たちも先生方にも『浦高の底力を見せよう』と言い続けてまいりました。その一つがラグビー部です。昨年4月には第6シードであった選手たちも秋の大会では強豪校を打ち破り決勝戦まで勝ち上がることができました。また学業でも、諸先輩には想像できないかも知れませんが、2月末まで生徒たちが教室で勉強し、先生方も受験問題の質問に答えるという風景が見られました。結果は付いてくるものと思っておりましたが、その通り全国の公立大学へ進学しています。そんな公立高校での受験の様子がさまざまなメディアでも取り上げられています。明日発売のアエラでも授業風景が取り上げられるようです。もう一つの底力は、ラグビーで負傷したG君が車椅子での生活ながらも、自分で車を運転して大学に通学し、ウィルチェアラグビーにも取り組んでいます。同じように怪我をしたY君も浦高で頑張っています。今後とも、同窓会の皆様にはさまざまな形でのご支援をお願いいたします。」



〔木村恵司同窓会会長〕



〔杉山剛士浦高校長〕

### ◆総会で3つの議案が可決

#### ◇議案第1号 平成28年度事業報告及び決算(案)

浦高同窓会では、高校卒業と同時に入会する会費と既卒者の終身会費、その他ネクタイなどのグッズ収入、寄付金などで収入が13,382千円余。支出は、総会や会報発行、百年の森事業、グッズ作成費などで13,291千円余となっています。

#### ◇議案第2号 平成29年度事業計画(案)及び予算(案)

事業は例年通り、会報「麗和」の発行、総会・委員会等の開催、百年の森活動、母校強歩大会支援、各地域職域同窓会への出席等です。予算規模は前年度ほぼ同様の額です。

#### ◇議案第3号 平成29年度同窓会役員選任(案)

新たに5名の理事が選任され、名誉会員・顧問8名、正副会長6名、常任理事25名、監事2名、理事46名の体制になりました。

\* \*

### ◆講演会・懇親会

今回の講演会は2つ。

#### ◇「浦高生を『無教養なグローバル人材』にしないために」 峰岸真琴氏(東京外国語大学教授)

#### ◇「北朝鮮に拉致された藤田進(高27)」 藤田隆司氏(藤田進氏の弟)



〔峰岸真琴外語大教授〕



〔藤田隆司氏〕

講演会の概要は、次号以降で詳しく。そして懇親会のスタートは浦和一女音楽部の合唱でした。(^^)



また同窓会の1年(29年度)がスタートしました。